

築きの拠り所

全ての建築物は地の上に建、ている。変貌する時代の中、個々が考える心地よい空間は異なってきた。それに伴い様々な考えの基準面、すなわちGLも変化していくべきではないだろうか。この建築に基準とする地は存在しない。そして利用用途も定められず。各々が一番心地よいと思う場こそがその人の基準面となり、利用する目的となる。明確な意味を持たない新時代の建築を私は提唱する。

•空間が交差する處に身を委ね、人は安らぎを感じる



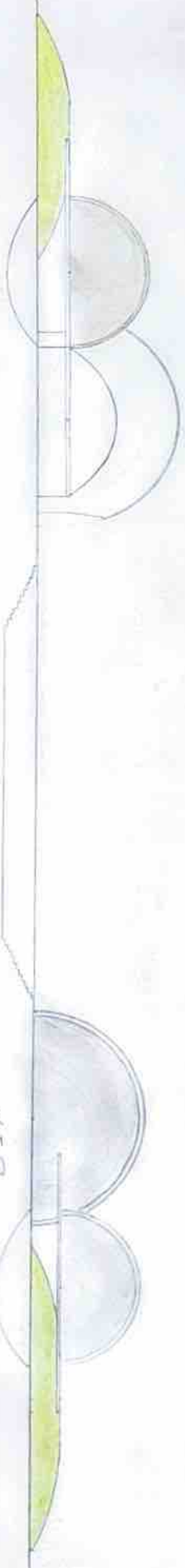
断面図①



断面図②



•そこには建築の原点に立ち戻り本質を捉える「基本」がある



断面図③

